

## 2011 年度 建設マネジメント委員会 研究成果発表会及び表彰式 (建設産業の国際展開支援の研究報告を含む) 報告

2011 年 9 月 30 日  
研究問題検討小委員会

### 1. 目的

土木学会 建設マネジメント委員会（委員長：小澤 一雅）では、7 つの特別小委員会と 15 の研究小委員会を設け、建設マネジメントに関する研究を行っている。これらの研究成果の普及に資することを目的とし、2010 年度の特別小委員会及び研究小委員会の活動から、次表に示すテーマに関して発表会を開催した。

### 2. 概要

研究成果発表会の開催日時と発表プログラムは下表のとおりである。

日 時：平成 23 年 8 月 11 日（木）10：00～17：30

場 所：（社）土木学会 講堂

**表 建設マネジメント委員会 研究成果発表会（2011 年度） 発表プログラム**

研究成果発表会（2011 年度）		
時間	発表テーマ	発表担当研究小委員会
10：00～10：10	開会の挨拶	建設マネジメント委員会：小澤一雅 委員長
<b>■建設産業の国際展開支援の研究報告の部</b>		
10：10～10：25	国際展開推進プロジェクト小委員会 活動報告	小委員長：福本勝司（大林組）
10：25～10：40	国際連携プロジェクト小委員会 活動報告	小委員長：渡邊法美（高地工科大学）
10：40～11：30	公共事業改革プロジェクト小委員会 活動報告	小委員長：木下誠（愛媛大学）
11：30～11：40	質 疑	
<b>■表彰式</b>		
11：45～12：40	表彰式	
12：40～13：30	休 憩	
<b>■研究小委員会の部</b>		
13：30～13：45	土壤汚染に対する PFI 等のマネジメント手法導入の研究	環境修復事業マネジメント研究小委員会 小委員長：下池季樹（国際環境リサーチンズ） 発 表 者：下池季樹（国際環境リサーチンズ）
13：45～14：00	ICT を活用した理想的な現場像の研究	現場マネジメント情報化研究小委員会 小委員長：原島誠（飛島建設） 発 表 者：原島誠（飛島建設）
14：00～14：40	東日本大震災の復旧・復興に向けた PFI/PPP の活用に関する提言	インフラ PFI 研究小委員会 小委員長：宮本和明（東京都市大学） 発 表 者：宮本和明（東京都市大学）
14：40～15：00	休 憩	
15：00～15：40	技術公務員の「役割と責務」および「育成と評価」に関する研究	技術公務員の育成と評価研究小委員会 小委員長：野口好夫（名古屋市） 発 表 者：野口好夫（名古屋市）
15：40～16：20	地方都市におけるサステイナブルなまちづくりと地域マネジメント方法に関する実証的研究 —滋賀県湖南地方都市を対象とする農・工・商連携のまちづくりと都市活性化のための地域マネジメント—	地域マネジメント研究小委員会 小委員長：春名攻（立命館大学） 発 表 者：春名攻（立命館大学） 発 表 者：山田幸一郎（CAP）
16：20～16：50	海外土木事業のプロジェクトマネジメントについて	新しいビジネスモデル研究小委員会 小委員長：中山等（鹿島建設） 発 表 者：中山等（鹿島建設）
16：50～17：20	北海道における建設マネジメント研究会の概要と活動経過及び現在の取り組み	北海道における戦略的建設マネジメント研究会 小委員長：白尾宣彦（日本データサービス） 発 表 者：白尾宣彦（日本データサービス）
17：20～17：30	閉会の挨拶	研究問題検討小委員会：滑川達 小委員長

### 3. 参加状況

成果発表会の参加状況としては、2011/08/04 迄の事前申込者（表彰式出席者を含む）125名、当日参加者40名の計165名が参加し、昨年度の84名と比べて倍増となった。

参加者の内訳としては、コンサルタントが36名、ゼネコンが32名と多く、次いで公益法人27名、中央省庁18名、大学関係者15名となっており、民間企業からの関心が高かったものと考えられる。（詳細はP6の《参加状況》に掲載）



— 発表会場当日の様子 —

#### 4. 発表会に向けた取り組み等について

##### (1) 発表会に向けた取り組み

- 本年度の成果発表会では、建設産業の国際展開支援の研究報告、表彰式、研究小委員会の成果発表を行った。
- 「建設産業の国際展開支援の研究報告の部」においては、国際展開に関する3つの特別小委員会が活動報告を行い、「研究小委員会の部」においては発表応募のあった7つの研究小委員会が各テーマに関する研究成果を発表した。
- 表彰式では、表彰小委員会において選定された論文賞2編、グッド・プラクティス賞2件、優秀講演賞3者の表彰を行うとともに、論文賞とグッド・プラクティス賞の概要を紹介した。
- 発表会の約1ヶ月前には、建設マネジメント委員会のホームページに開催プログラムを掲載した。
- 過年度と同様に、本年度も会場参加者へ成果発表会に対するアンケート調査を実施した。(詳細はP7~P9の《研究成果発表会 アンケート調査結果》に掲載)

##### (2) 発表会を終えて

- アンケート調査結果によれば、『大変参考になった』又は『参考になった』との回答が、「建設産業の国際展開支援の研究報告の部」で約78.0%、「研究小委員会の部」で約76.3%と、両部ともに多くの参加者の方に満足戴けたものとする。
- 参加者の年齢構成を見ると、30代~50代が約89.5%を占めるのに対し、20代の方は1.8%であった。建設マネジメント委員会の研究活動を活性化するためにも、若手技術者の参画に向けたPRも重要と考える。
- 3.参加状況に示したとおり、参加者が昨年度よりも大幅に増加し、過去最高となった。
- 今年度は、例年実施している研究小委員会の成果発表に加えて、建設産業の国際展開支援の研究報告を同日に行い、多岐に渡る研究テーマを提供できたことが参加者の大幅増につながったと考える。
- 発表時間の長さについては、『ちょうどよかった』と回答された方が、「建設産業の国際展開支援の研究報告の部」で60.0%、「研究小委員会の部」で63.6%と、両部ともに妥当な発表時間であったと考える。

##### (3) 今後の方向性

- 先述のとおり、昨年度に引き続き、成果発表会に対するアンケート調査を実施した。本調査で得られた成果発表会に対する意見等を踏まえ、今後の委員会活動に反映できるようにフィードバックしたいと考える。
- 研究成果発表会は、昨年度同様土木学会(講堂)において、多岐に渡る研究テーマをまとめて発表する形で開催したが、将来的には個別の研究テーマ毎に成果発表会等の開催やニーズの高い自治体等での研修会(有料)を開催するなど、活動を拡大していくことも必要と考える。

## 5. 表彰受賞者一覧

### (1) 論文賞

論文名	執筆者	掲載論文集
公共工事入札における住民参加の可能性に関する研究	筆頭著者：倉内公嘉 (国土交通省北海道開発局) 連名著者：鶴束俊哉、高野伸栄、北村明政	2010.12 特集号
ファセット分解と公的討議の談話分析	筆頭著者：鄭蝦榮 (京都大学) 連名著者：小林潔司、羽鳥剛史、白松俊	2010.12 特集号



倉内公嘉氏



鄭蝦榮氏

### (2) グッド・プラクティス賞

取り組みの名称	取り組み実施者	発表行事
稚内ワッコールプロジェクト	稚内建設協会	北海道地域シンポジウム (平成22年7月開催)
公共工事における住民参加入札の実験	北海道土木技術会 建設マネジメント研究委員会	平成22年度 研究発表・討論会



稚内建設協会  
(富田伸司氏)



北海道土木技術会建設マネジメント研究委員会  
(高野伸栄氏)

(3) 優秀講演賞

発表名	発表者	発表行事
自己言及的手続き選択モデルを用いた決定方式の安定性分析ー吉野川第十堰を例としてー	田中佑典 (東京大学大学院)	平成 22 年度 研究発表・討論会
公共調達における技術提案に対するインセンティブについてのー考察	宮武一郎 (国土交通省国土技術政策総合研究所)	平成 22 年度 研究発表・討論会
総合評価方式における技術提案の審査方法に関する研究	倉内公嘉 (国土交通省北海道開発局)	平成 22 年度 研究発表・討論会



田中佑典氏



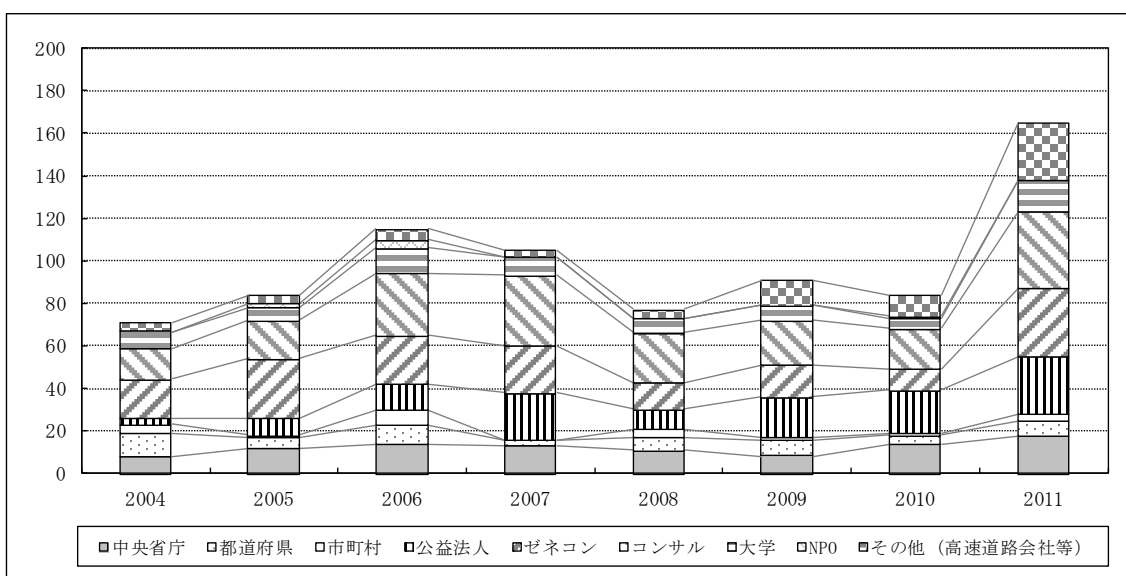
宮武一郎氏



倉内公嘉氏

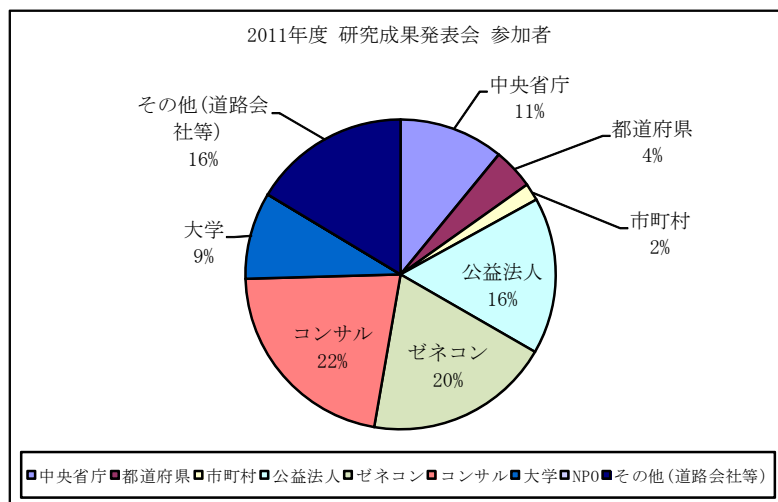
## 《参加状況》

区分	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
中央省庁	8	12	14	13	11	9	14	18
都道府県	11	5	9	3	6	7	4	7
市町村	4	1	7	0	4	1	1	3
公益法人	3	8	12	22	9	19	20	27
ゼネコン	18	28	23	22	13	15	10	32
コンサル	15	18	29	33	23	21	19	36
大学	8	6	12	9	7	7	5	15
NPO	0	2	4	0	0	0	1	0
その他（高速道路会社等）	4	4	5	3	4	12	10	27
合計	71	84	115	105	77	91	84	165



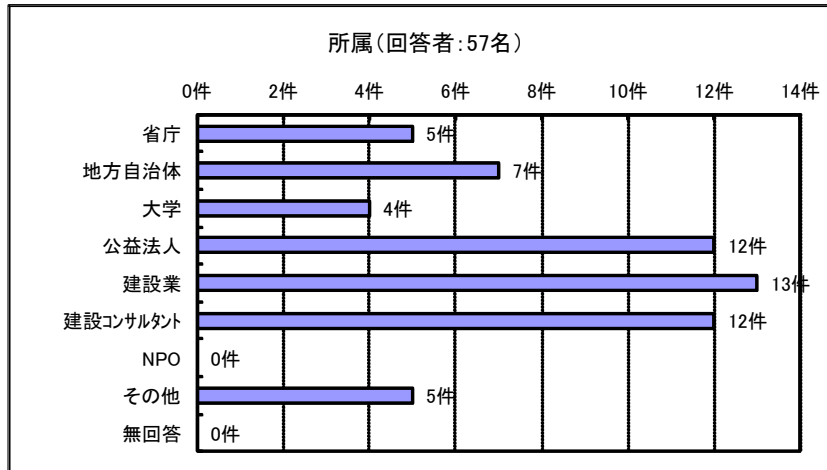
2011年度

区分	参加者数
中央省庁	18
都道府県	7
市町村	3
公益法人	27
ゼネコン	32
コンサル	36
大学	15
NPO	0
その他(道路会社等)	27
合計	165



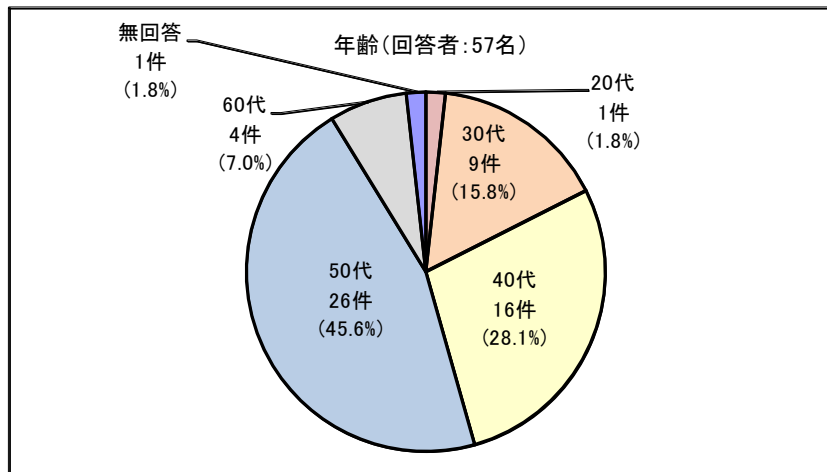
## 《 研究成果発表会 アンケート調査結果 》

### (1) 回答者の所属構成

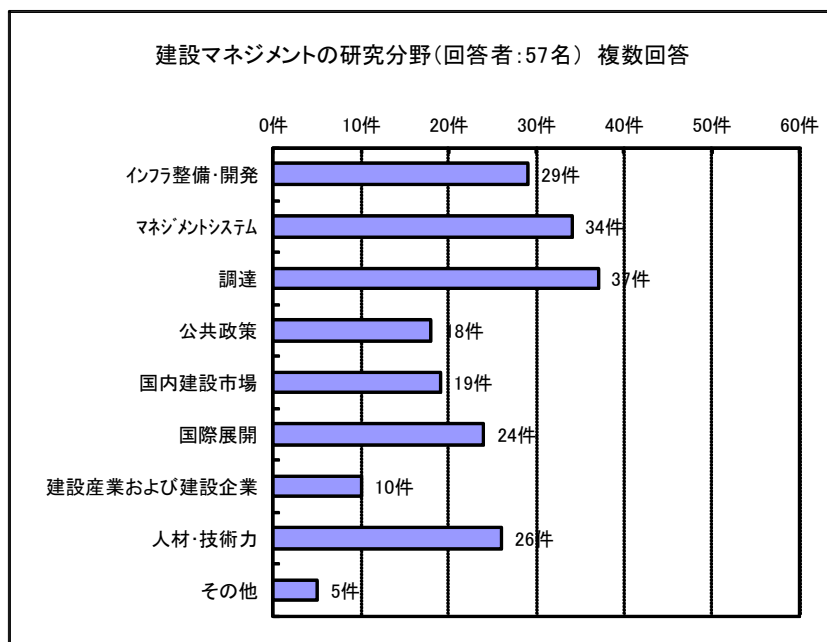


※大学と建設コンサルタントを兼任している回答1件を重複計上

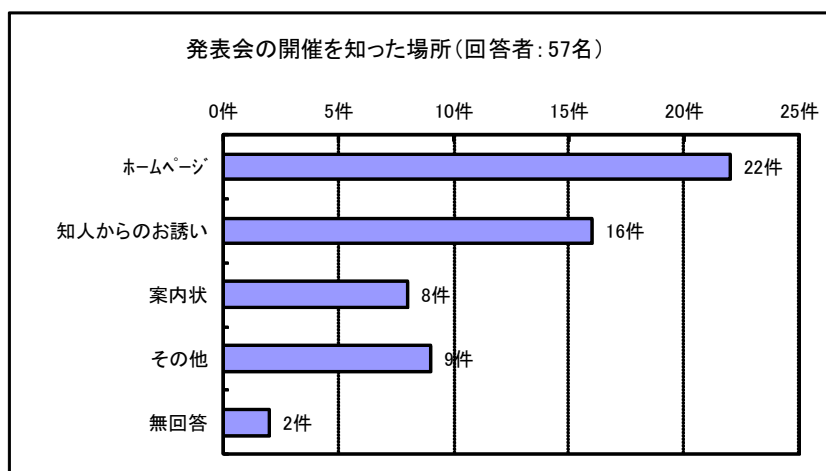
### (2) 回答者の年齢構成



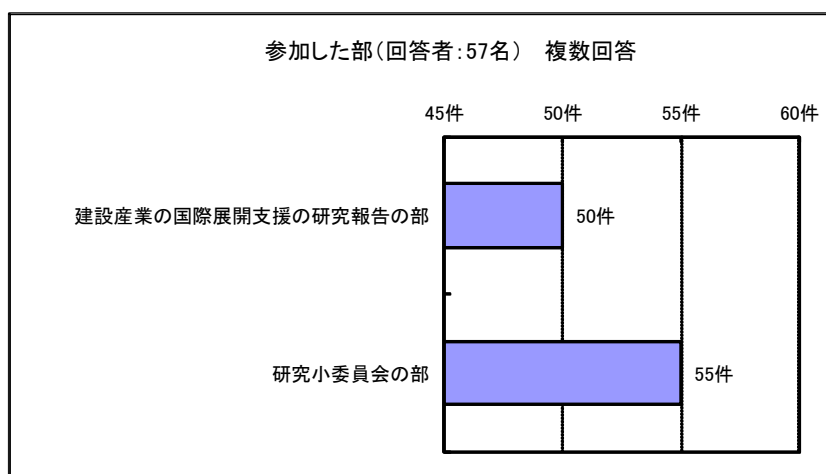
### (3) 研究分野



(4) 開催を知った場所



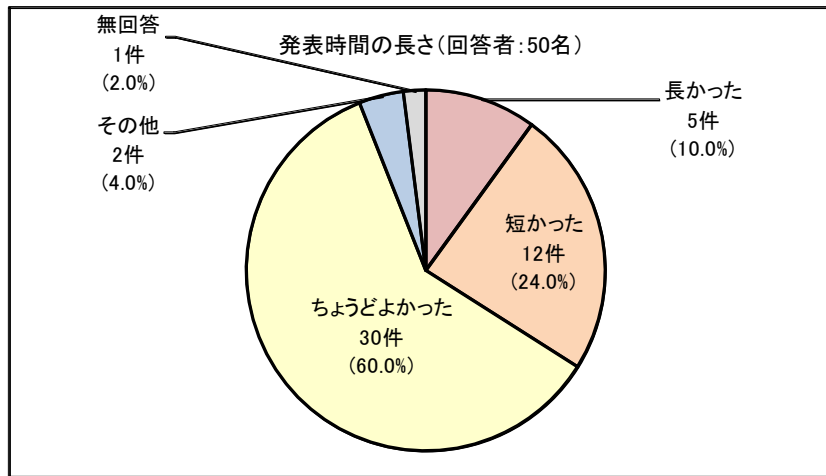
(5) 参加した部



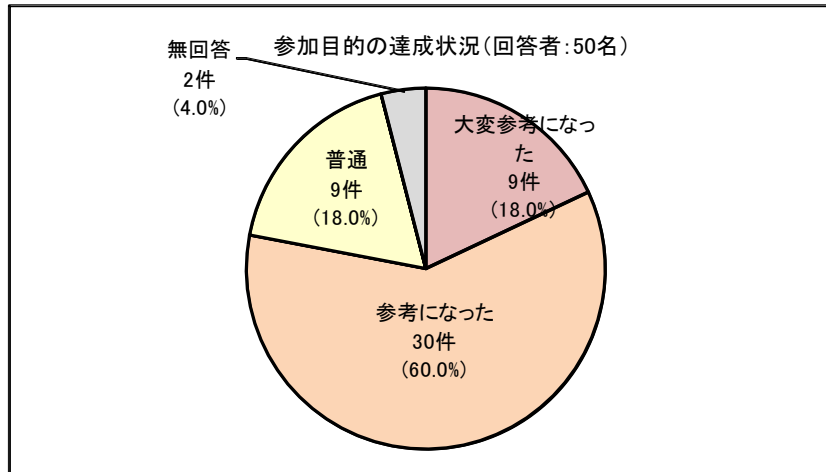


(6) 『建設産業の国際展開支援の研究報告の部』について

(6-1) 発表時間の長さ

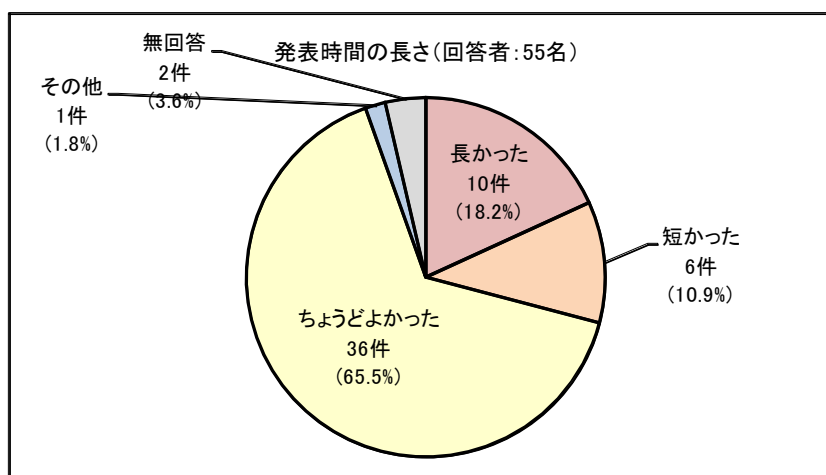


(6-2) 参加目的の達成状況



(7) 『研究小委員会の部』について

(7-1) 発表時間の長さ



(7-2) 参加目的の達成状況

